

第1回嘉徳海岸侵食対策事業検討委員会で 各委員の方から出された質疑について

鹿児島県 大島支庁 瀬戸内事務所

平成29年11月25日

第1回 嘉徳海岸侵食対策事業検討委員会が出された質疑一覧表

- 1 海岸保全区域について(資料－1)
- 2 嘉徳湾の海底地形について(資料－2)
- 3 地盤高の再確認・砂浜の経年変化について(資料－3)
- 4 砂浜の深さ・砂浜に構造物を構築した際の安定性について(資料－4)
- 5 エココースト事業について(資料－5)
- 6 浜の広い海岸で護岸を整備した場合の経年変化について(資料－6)
- 7 昭和21年頃にアダン林が無かった事の歴史的な背景について(資料－7)
- 8 節子海岸の現況について(資料－8)
- 9 嘉徳地区の住民からの海岸保全に関する聞き取りについて(資料－9)

1 海岸保全区域について

「海岸保全区域」とは

国土を津波、高潮、波浪等の被害から防護するために、海岸法の規定に基づき、海岸管理者(知事)が指定した区域をいいます。(法第3条)

海岸保全区域においては、海岸を保護する目的で、**一定の行為**をする場合には、事前に海岸管理者の許可が必要です。

「一定の行為」とは

- ・海岸保全区域内において、海岸保全施設以外の施設又は工作物を設置して海岸保全区域を占用しようとする場合は、海岸管理者の許可を受けなければならない。(法第7条)

- ・海岸保全区域内で土石の採取、土地の掘削、盛土、切土、海岸保全施設以外の施設等の新設及び改築などの一定の行為をしようとする場合は、海岸管理者の許可を受けなければならない。(法第8条)

※侵食対策事業の事業採択要件として**海岸管理者が管理する海岸**であることが条件となる。

2 嘉徳湾の海底地形について



等深浅図 (H27. 9)

凡 例
平成 年度までの施工箇所
平成 年度施工箇所
本年度施工箇所
平成 年度以降 計画

0 ~ -1 m
-1 ~ -2 m
-2 ~ -3 m
-3 ~ -4 m
-4 ~ -5 m
-5 ~ -6 m
-6 ~ -7 m
-7 ~ -8 m
-8 m 以深

基準点座標一覧表

測 点	X座標	Y座標
測量所長 (測量所)	-533008.580	-9715.873
測量所長 (測量所)	-532987.491	-9483.027
T-1	-533009.403	-9749.291
T-2	-532957.782	-9746.674
T-3	-532977.689	-9697.084
T-4	-533003.337	-9655.526
T-5	-532983.593	-9595.595
T-6	-532960.747	-9562.171
T-7	-532897.962	-9576.230
T-7-A	-532856.564	-9558.073
T-7-B	-532818.948	-9526.781
T-7-C	-532778.470	-9505.541
T-7-D	-532744.161	-9487.658
T-7-E	-532692.395	-9464.860
T-7-F	-532766.996	-9365.197
T-7-G	-532797.070	-9394.435
T-7-H	-532814.268	-9424.830
T-7-I	-532843.474	-9457.244
T-7-J	-532874.344	-9485.075
T-7-K	-532899.963	-9519.142
T-7-L	-532933.085	-9537.181

平成 年度
嘉徳海岸

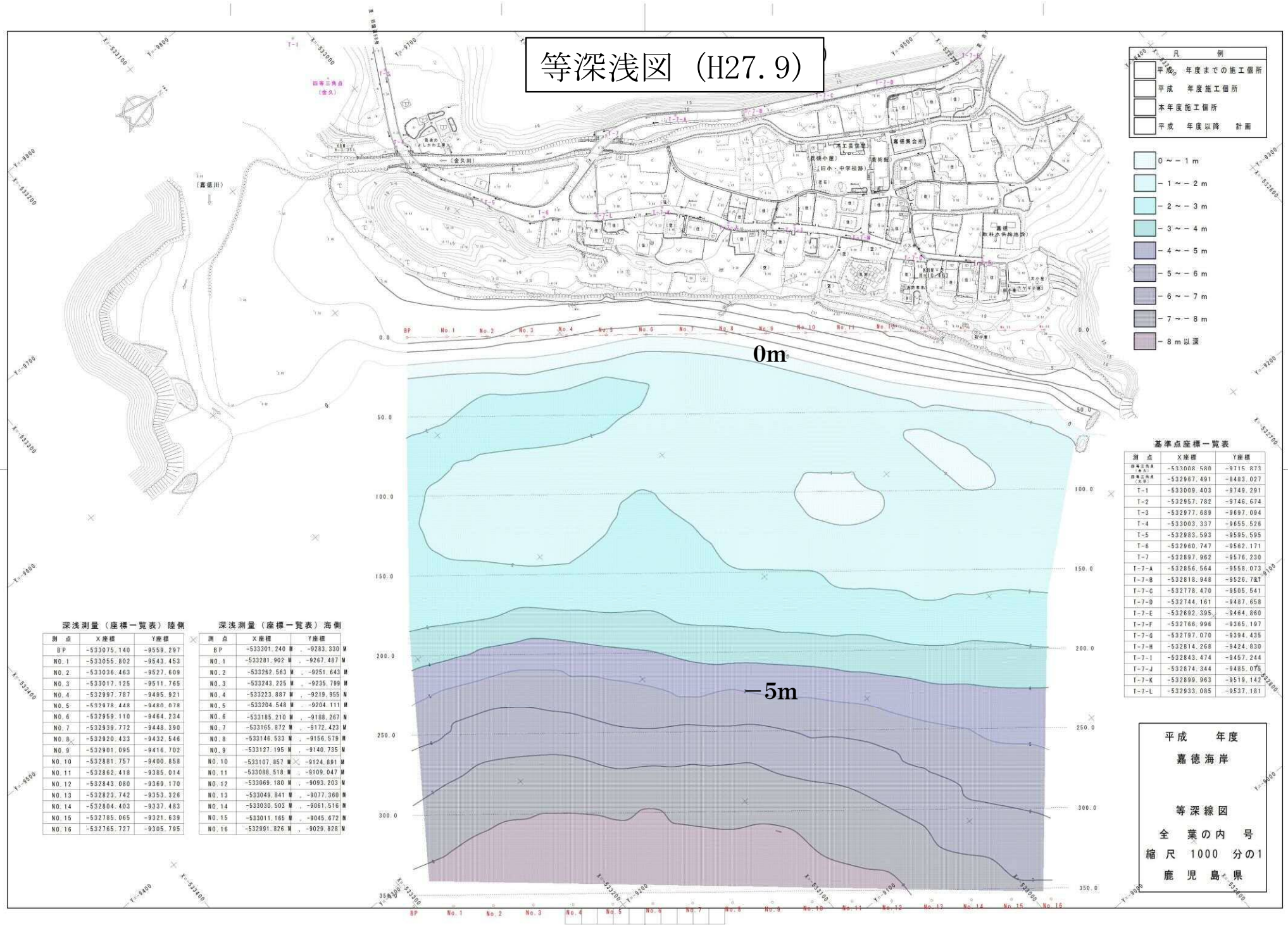
等深线图
全 業 の 内 号
縮 尺 1000 分の1
鹿 児 島 県

深浅測量 (座標一覧表) 陸側

測 点	X座標	Y座標
BP	-533075.140	-9559.297
NO.1	-533055.802	-9543.453
NO.2	-533036.463	-9527.609
NO.3	-533017.125	-9511.765
NO.4	-532997.787	-9495.921
NO.5	-532978.448	-9480.078
NO.6	-532959.110	-9464.234
NO.7	-532939.772	-9448.390
NO.8	-532920.433	-9432.546
NO.9	-532901.095	-9416.702
NO.10	-532881.757	-9400.858
NO.11	-532862.418	-9385.014
NO.12	-532843.080	-9369.170
NO.13	-532823.742	-9353.326
NO.14	-532804.403	-9337.483
NO.15	-532785.065	-9321.639
NO.16	-532765.727	-9305.795

深浅測量 (座標一覧表) 海側

測 点	X座標	Y座標
BP	-53301.240	-9283.330
NO.1	-533281.902	-9267.487
NO.2	-533262.563	-9251.643
NO.3	-533243.225	-9235.799
NO.4	-533223.887	-9219.955
NO.5	-533204.548	-9204.111
NO.6	-533185.210	-9188.267
NO.7	-533165.872	-9172.423
NO.8	-533146.533	-9156.579
NO.9	-533127.195	-9140.735
NO.10	-533107.857	-9124.891
NO.11	-533088.518	-9109.047
NO.12	-533069.180	-9093.203
NO.13	-533049.841	-9077.359
NO.14	-533030.503	-9061.516
NO.15	-533011.165	-9045.672
NO.16	-532991.826	-9029.828



等深浅図 (H29. 11. 15)

凡 例	
	平成 年度までの施工箇所
	平成 年度施工箇所
	本年度施工箇所
	平成 年度以降 計画

	0 ~ -1 m
	-1 ~ -2 m
	-2 ~ -3 m
	-3 ~ -4 m
	-4 ~ -5 m
	-5 ~ -6 m
	-6 ~ -7 m
	-7 ~ -8 m
	-8 m 以深

基準点座標一覧表

測 点	X座標	Y座標
国土地院 （高木）	-533008.580	-9715.873
国土地院 （高木）	-532987.491	-9483.027
T-1	-533009.403	-9749.291
T-2	-532957.782	-9746.674
T-3	-532977.689	-9697.084
T-4	-533003.337	-9655.526
T-5	-532983.593	-9595.595
T-6	-532960.747	-9562.171
T-7	-532897.962	-9576.230
T-7-A	-532856.564	-9558.073
T-7-B	-532818.948	-9526.781
T-7-C	-532778.470	-9505.541
T-7-D	-532744.161	-9487.658
T-7-E	-532692.395	-9464.860
T-7-F	-532766.996	-9365.197
T-7-G	-532797.070	-9394.435
T-7-H	-532814.268	-9424.830
T-7-I	-532843.474	-9457.244
T-7-J	-532874.344	-9485.076
T-7-K	-532899.963	-9519.142
T-7-L	-532933.085	-9537.181

平成 年度
嘉徳海岸

等深浅図

全 業 の 内 号
縮 尺 1000 分の1
鹿 児 島 県

深浅測量（座標一覧表）陸側

測 点	X座標	Y座標
BP	-533075.140	-9559.297
NO. 1	-533055.802	-9543.453
NO. 2	-533036.463	-9527.609
NO. 3	-533017.125	-9511.765
NO. 4	-532997.787	-9495.921
NO. 5	-532978.448	-9480.078
NO. 6	-532959.110	-9464.234
NO. 7	-532939.772	-9448.390
NO. 8	-532920.433	-9432.546
NO. 9	-532901.095	-9416.702
NO. 10	-532881.757	-9400.858
NO. 11	-532862.418	-9385.014
NO. 12	-532843.080	-9369.170
NO. 13	-532823.742	-9353.326
NO. 14	-532804.403	-9337.483
NO. 15	-532785.065	-9321.639
NO. 16	-532765.727	-9305.795

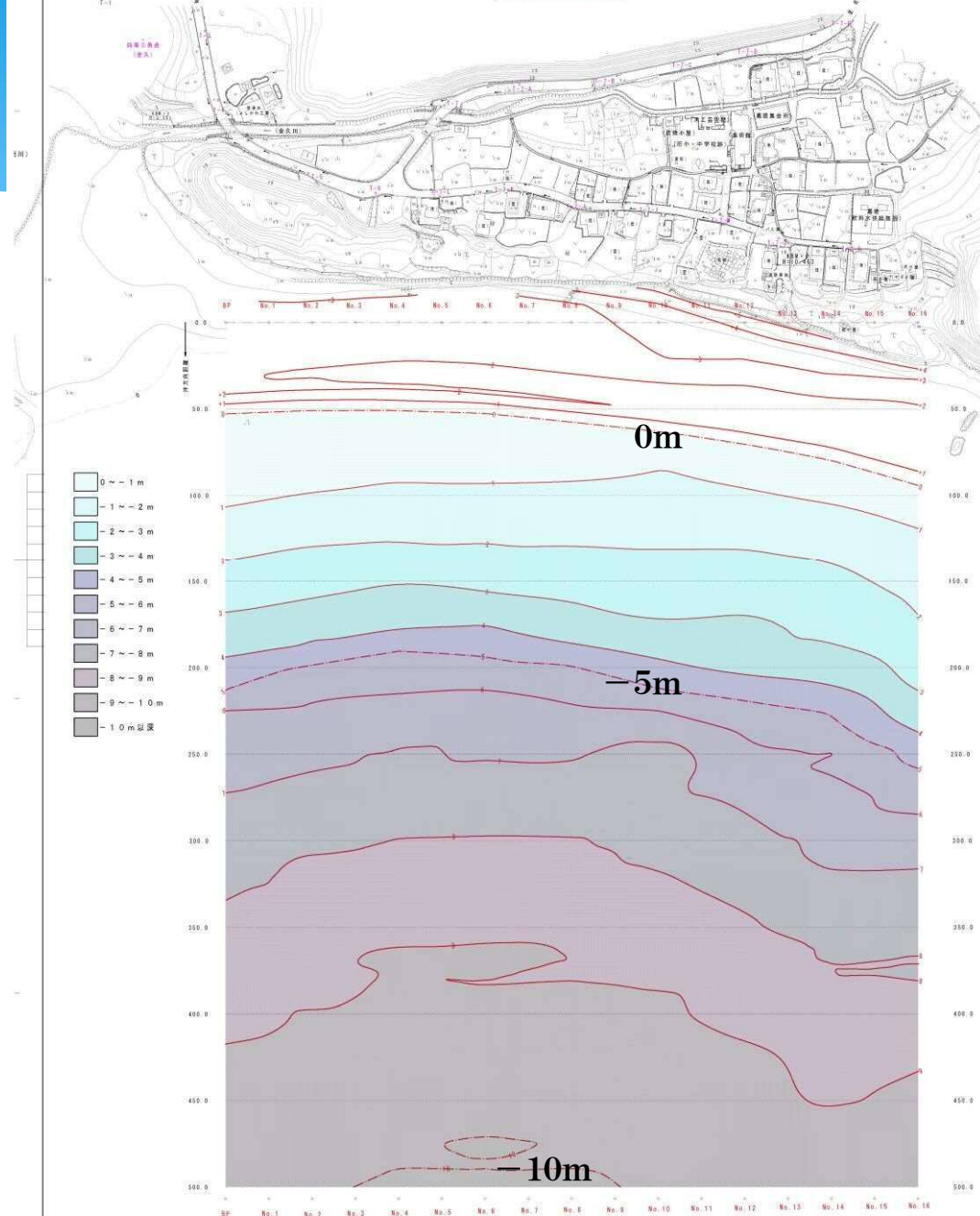
深浅測量（座標一覧表）海側

測 点	X座標	Y座標
BP	-53301.240	-9283.330
NO. 1	-533281.902	-9267.487
NO. 2	-533262.563	-9251.643
NO. 3	-533243.225	-9235.799
NO. 4	-533223.887	-9219.955
NO. 5	-533204.548	-9204.111
NO. 6	-533185.210	-9188.267
NO. 7	-533165.872	-9172.423
NO. 8	-533146.533	-9156.579
NO. 9	-533127.195	-9140.735
NO. 10	-533107.857	-9124.891
NO. 11	-533088.518	-9109.047
NO. 12	-533069.180	-9093.203
NO. 13	-533049.841	-9077.359
NO. 14	-533030.503	-9061.516
NO. 15	-533011.165	-9045.672
NO. 16	-532991.826	-9029.828

嘉徳海岸等深線図 S=1:1000 (大島郡瀬戸内町嘉徳地内)

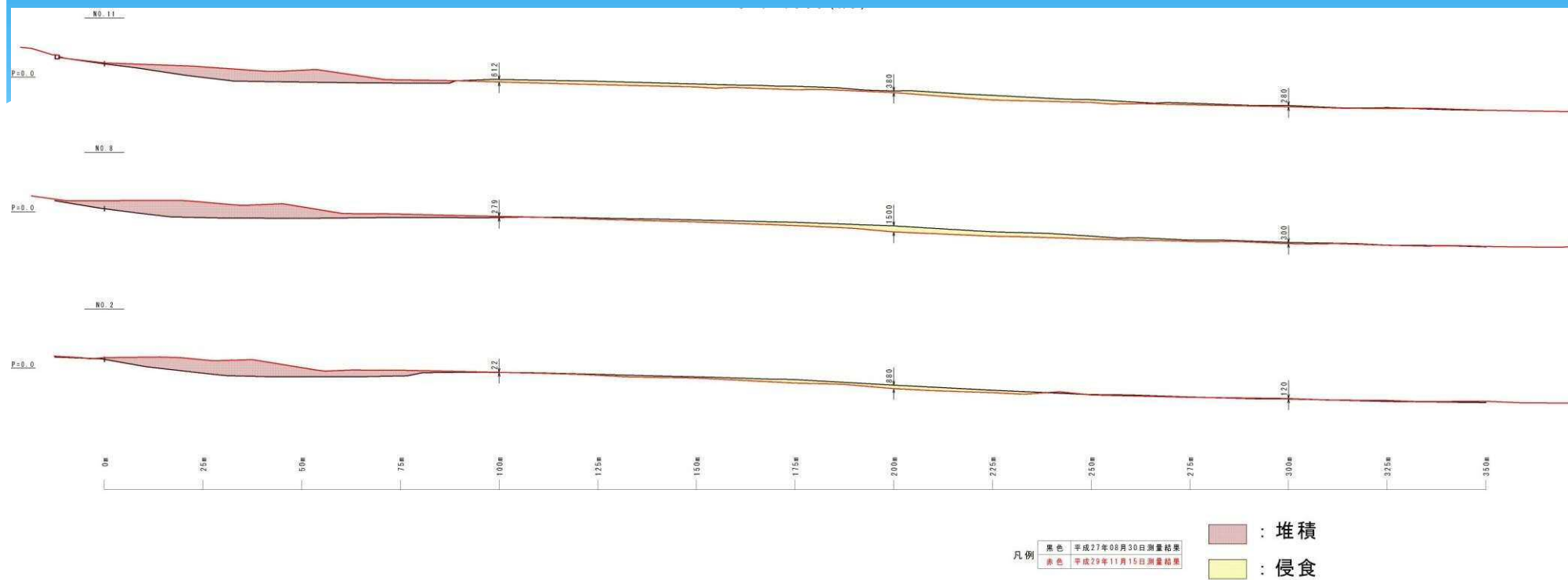
凡例
黄 色 平成27年6月30日測量結果
赤 色 平成28年11月15日測量結果

凡 例	
	平成 年度までの施工箇所
	平成 年度施工箇所
	本年度施工箇所
	平成 年度以降 計画

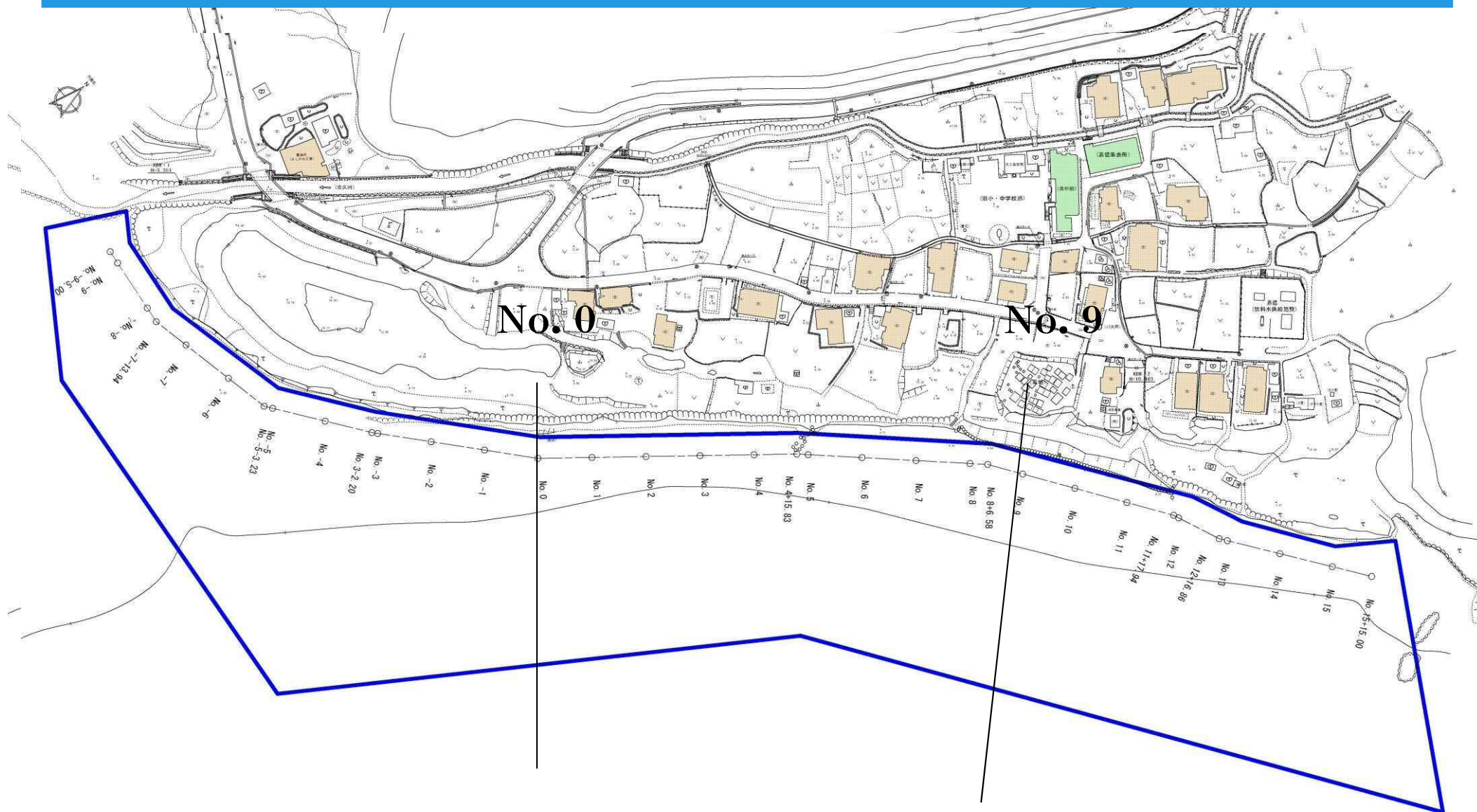


500m

深浅測量横断図

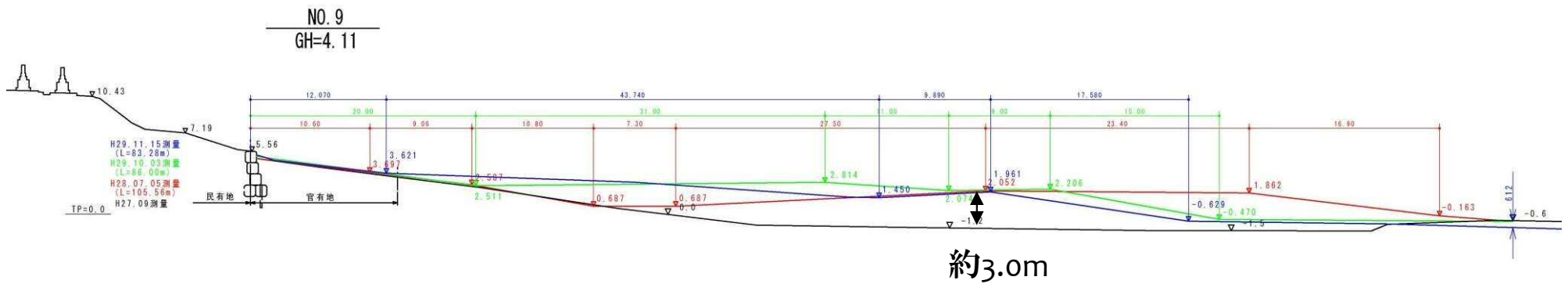
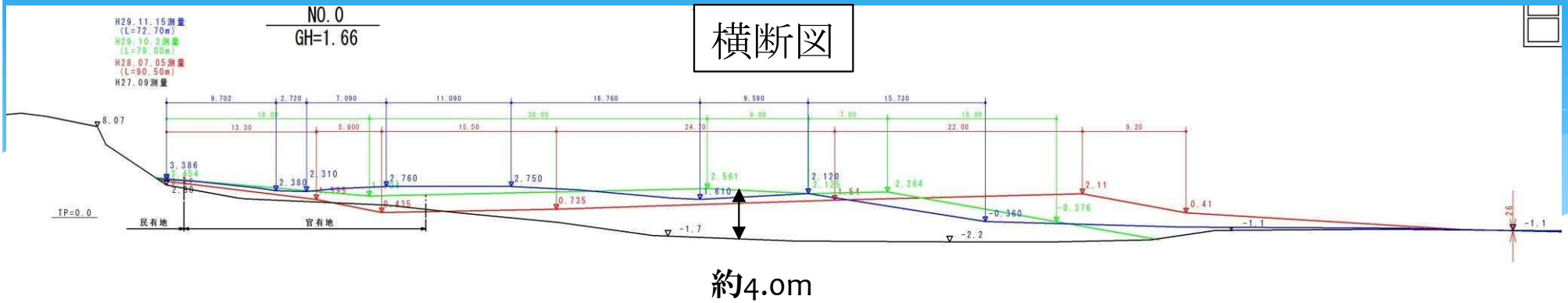


3 地盤高の再確認・砂浜の経年変化について



侵食後から現在までの地盤高の変化について

横断図



— H27.9地盤線

— H28.7地盤線

— H29.10地盤線

— H29.11地盤線

砂浜の経年変化について



砂浜の経年変化について

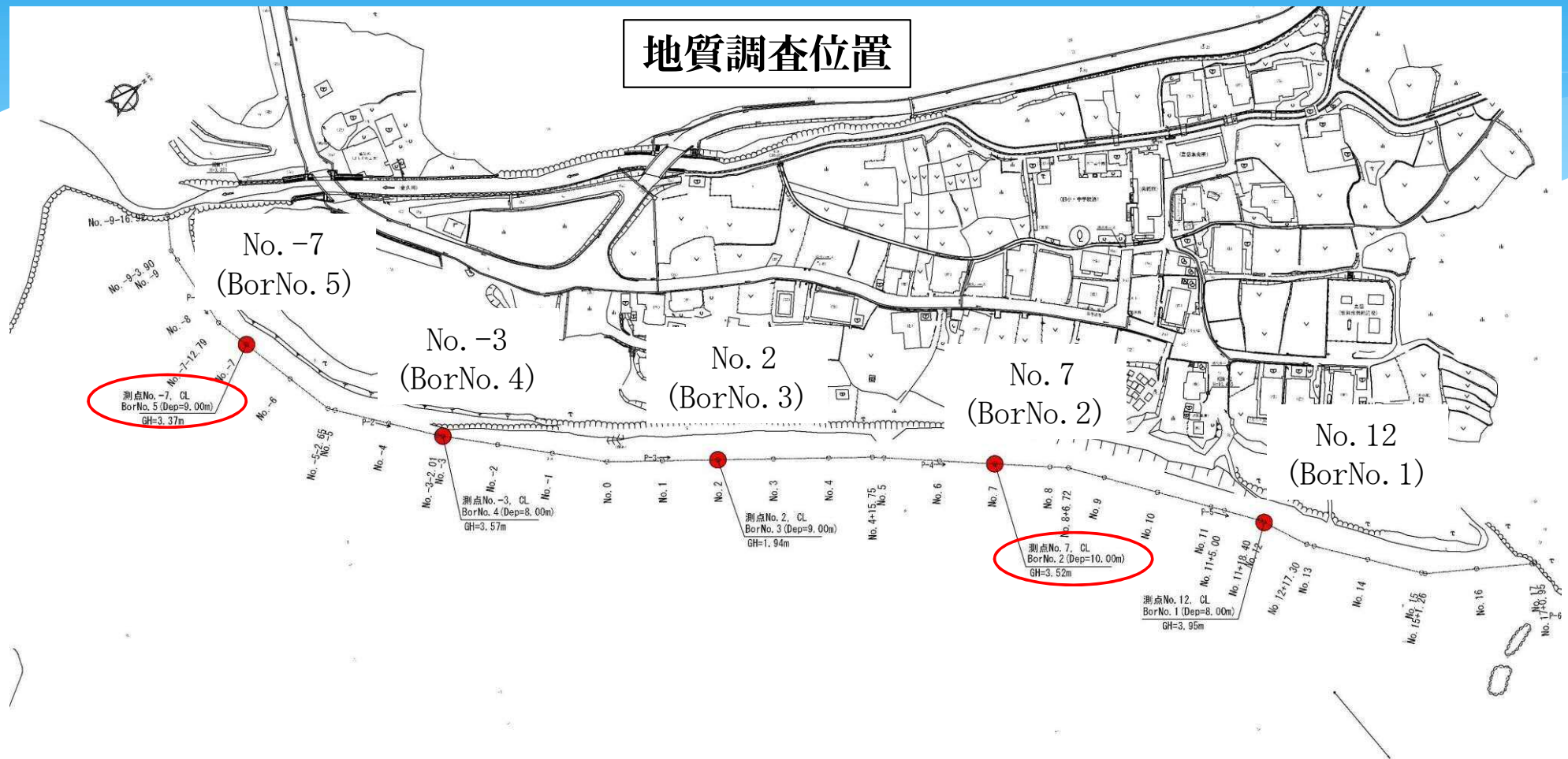
拡大図
(No. -1 ~ No. 15 付近)



航空写真撮影時の浜(黄線)
侵食後の浜(青線)

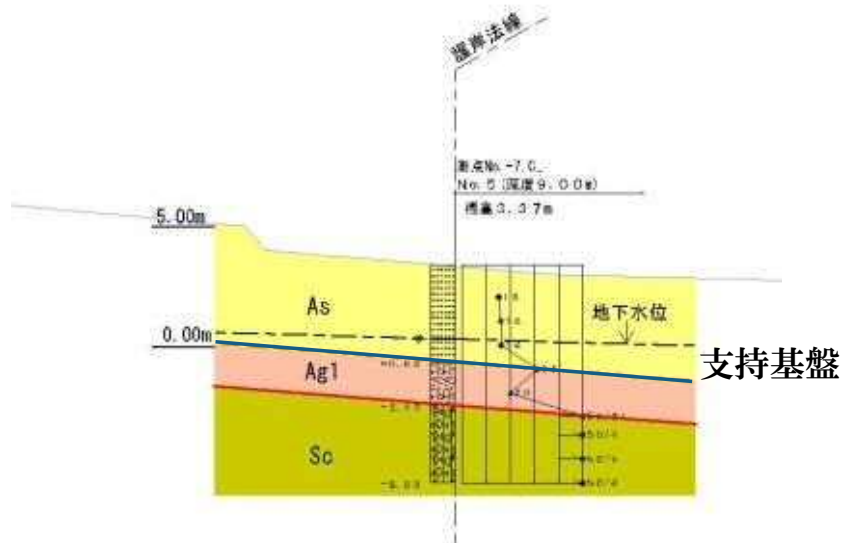
消失した民有地: 約1,700m²
※CADによる計測

4 砂浜の深さ・砂浜に構造物を構築した際の安定性について

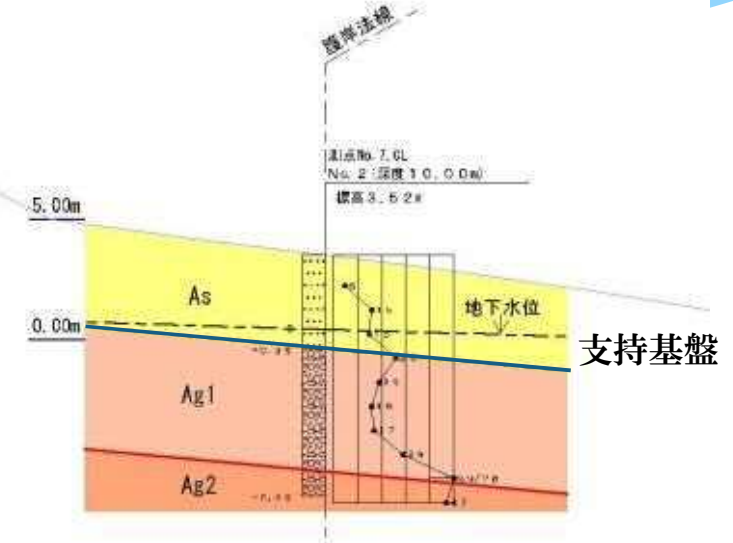


地質調査結果

No. -7
(BorNo. 5)



No. 7
(BorNo. 2)



- ・砂層 (As) は 4 m 程度。(N値3～19)
- ・その下層には礫径5～20mmが主体の砂礫層 (Ag1) が 2 ～ 5 m 程度。(N値16～50)
- ・No. 7付近にはAg1がより締まった砂礫層 (Ag2) が、No. -7付近には基盤である礫岩 (Sc) がある。(N値50以上)

砂礫層 (Ag1) が構造物の支持基盤となる。

Ag1まで掘削し、構造物を構築すれば問題は無いと考える。

凡 例

地質時代	地層名	記号	地質名	記 事
新生代 第四紀 更新世	沖積層	As	砂	海浜砂である。中砂を主体とし、細砂、粗砂を混入する。比較的粒径均一である。少量の小礫、貝殻片を混入する。
		Ag1	砂礫	礫は径5～20mm主体で、最大礫径50mm程度。礫は砂岩、頁岩、チャートよりなり、硬質である。礫含有量50～60%程度。基質は細～中～粗砂よりなり、粒径配合に含む。N値16～40程度。
		Ag2	砂礫	礫は径5～20mm主体で、最大礫径50mm程度。礫は砂岩、頁岩、チャートよりなり、硬質である。礫含有量50～60%程度。基質は細～中～粗砂よりなり、粒径配合に含む。N値50以上。
中生代 白亜紀	四万十層群	Sc	礫岩	硬質な岩で、棒状コアで採取される。礫と基質は密着する。一部に砂岩、頁岩を混入。

耐震設計上の基盤面